

# 原水協活動推進News

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03-5842-6031 FAX：03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年10月6日 No.6

## 国連軍縮週間へむけ「6・9行動」各地で



さわやかな秋晴れの下、日本原水協は10月6日、上野公園で6・9行動にとりくみました。

茨城県つくば市から修学旅行で来た小学6年生の集団は、原爆パネルを見て「いま学校で勉強している」と話しながらそろって署名(写真)。その様子を写真に収めていた引率教師も「お世話になりました」と言いながら最後に署名をしました。署名した親子は婦人民主クラブの会員が作った折り鶴ストラップを受け取り、笑顔で「頑張ってください」と激励してくれました。柏市から動物園に遊びにきた青年は、「体験したことはないが、話を聴いたり写真を見て悲惨だということはよくわかる。原爆はなくさないといけない」と話していました。

一度通り過ぎてから戻ってきて署名する人や、カップル、外国人観光客など1時間で174人から署名、1270円の募金が寄せられました。行動には日本平和委員会、日本宗平協、婦人民主クラブ、上野の森に広島・長崎の火を永遠に灯す会、東京原水協など7団体から23人が参加しました。

### 新しい署名宣伝横断幕が目ひく

北海道原水協は6日、小学生が遠足でお弁当を広げたり、観光客が行き交う札幌市内大通り公園で「6・9行動」を行いました。原爆ドームと長崎の平和像の写真が左右に、「ノーモア ヒロシマ ノーモア ナガサキ ノーモア ヒバクシャ」と「核兵器をなくしましょう」の新しい横断幕が目ひく。神奈川から来たという青年が連れ立って署名しました。北海道原水協の岩淵尚事務局長は、「署名はいま大きな力を発揮しています。私たちが核不拡散条約に提出した約700万の署名が世界を大きく動かしています」、被爆者の服部十郎さん(81歳)は、「65年前の広島でかろうじて生き残った被爆者のひとりです。あなたのために、子どものために、孫のために、署名にご協力ください」と呼びかけました。北海道では6日の他に、9、16、19、24、26、29日の7回行います。



最新情報はコチラ→原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>  
携帯電話からもアクセスできます。